

2016年 2月 3日

豊明市長 殿

申請者 所在地

団体名 NPO法人 えんとかく  
てかぼ  
代表者名 脇本 泰志  
電話番号

市民提案型まちづくり事業交付金実績報告書

平成27年4月1日付け27指令豊市協第9号で交付決定を受けた交付金について、豊明市市民提案型まちづくり事業交付金交付要綱第15条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- 1 交付決定された交付金の額 金 80,000 円
  
- 2 関係書類
  - (1) 事業活動報告書・写真等
  - (2) 事業収支決算書・領収書等の写し
  - (3) その他

事業収支決算書

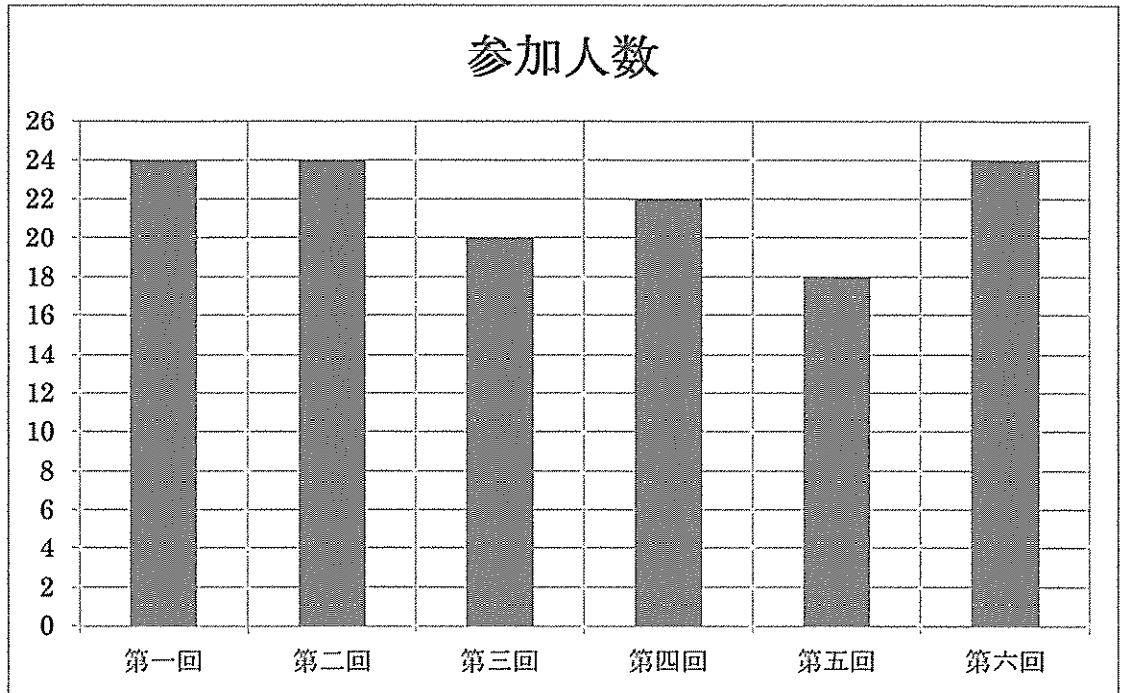
収入		単位:円	
科目	予算額	決算額	内訳 (積算根拠)
市交付金	80,000	80,000	
自己負担金 (会費等)	500	8,907	
事業収入 (受益者負担金)	0	0	
その他収入	0	0	
合計	80,500	88,907	

支出		単位:円	
科目	予算額	決算額	内訳 (積算根拠)
会場費	7,500	5,760	6回分の計
講師代	60,000	65,000	6回分の計
チラシデザイン費	2,000	10,000	デザイン、印刷代 合算
ポスター印刷代	8,000	3,240	
チラシ印刷代		2,444	印紙代のみ
交通費	3,000	0	講師代に含む
雑費		2,463	お茶代その他
予備費		0	
合計	80,500	88,907	

事業活動報告書

<p>団体名</p>	<p>特定非営利活動法人えんとかく てかぼ</p>
<p>事業の名称</p>	<p>発達障がいの理解</p>
<p>実施した事業の内容 (活動内容、実施日時、場所、参加状況等)</p>	<p>活動内容：発達障がいについての啓発セミナー</p> <p>実施日時：2015年 7月19日(日)、8月9日(日)、 8月30日(日)、10月18日(日)、11月8日(日)、 12月6日(日)</p> <p>実施場所：豊明市中央公民館視聴覚室</p> <p>各回情報          第一回 発達障がいの基礎知識と学習障がいの疑似体験          ディスレクシア協会名古屋 代表 吉田やすえ          第二回 理学療法から見る発達段階と子どもへのアプローチ          星城大学リハビリテーション学科 教員 三宅わか子          第三回 認知特性がわかる疑似体験で、良いところを探そう          ディスレクシア協会名古屋 代表 吉田やすえ          第四回 発達障がいの基礎知識教育機関の取り組みと学習          NPO法人四日市・子ども発達支援センター 副代表 杉本恵理子          第五回 親と教師の関係のあり方、特別支援教育の制度としくみについて          愛知産業大学短期大学 専任講師 首藤貴子          第六回 発達障がいの捉え方、続く支援とは、地域とともに          療育フリーメンター 森長研治</p>

参加状況：



事業の成果  
や効果

当初参加人数を15名としていたが、  
実質の応募総数が20名を超え、全回通して満席となった。

また、参加者の中には、支援者、当事者関係者、市職員、機関関係者も参加していただくことも出き、非常に良い結果となった。

※アンケート結果は別紙参照（二回目よりアンケート実施）

事業の反省  
点や課題等

対応できるスタッフが少ない

会場の選定。

告知の方法が、チラシとポスターだけだったので、  
他の告知方法を考える。

今後におけ  
る事業展開

今後、本活動を定着させていくうえで、

セミナー講師の選定、開催回数の見直し、内容の精査を行う。

また開催場所、開催時期も関係機関と連携を図りながら、

より適切なタイミング、場所を決定し、毎年定例事業とする。

2016年現在において、講師4名は確定済み

その他

今後は独自事業としていくが、できれば市の後援をいただければと思う。